HITACHI Inspire the Next

.NET Framework 3.5 の設定手順書

本手順書は、Windows 8、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をパワーオンプロキシとしてお 使いになる際、必要となる場合がある手順です。リモートパワーオンをお試しいただいた際、自席 PC がパ ワーオンされない場合に本手順書を参照し、設定を行ってください。

1. Windows 8 の場合

- ① Windows 8 をインストールしたインストールメディア(CD/DVD や ISO イメージなど)を PC に認識してく ださい。
- ② 「コントロールパネル」-「プログラム」-「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックしてください。
- ③ 表示した「Windows の機能」の「.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」をチェックオンし、「OK」をクリックしてください。

1	Windows の機能 🛛 🗖	x
Windo 機能を有 チェックボ 有効になっ	DWS の機能の有効化または無効化 効にするには、チェック ポックスをオンにしてください。機能を無効にする ックスをオフにしてください。塗りつぶされたチェック ボックスは、機能の一 っていることを表します。	愛 5には、 一部が
	.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む) .NET Framework 4.5 Advanced Services Active Directory ライトウェイト ディレクトリ サービス Hyper-V Internet Explorer 11 Microsoft メッセージ キュー (MSMQ) サーバー RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK) Remote Differential Compression API サポート RIP リスナー SMB 1.0/CIFS ファイル共有のサポート	<
	Telnet クライアント OK キャン	マル

④ 機能の有効化が正常に完了したのち、「閉じる」をクリックしてください。

- 2. Windows Server 2012、および、Windows Server 2012 R2 の場合
 - Windows Server 2012、および、Windows Server 2012 R2 をインストールしたインストールメディア (CD/DVD や ISO イメージなど)を PC に認識してください。
 - ②「コントロールパネル」-「プログラム」-「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックしてください。
 - ③ 表示した「役割と機能の追加ウィザード」より「次へ>」をクリックしてください。

h	役割と機能の追加ウィザード	-	•	x
▶ ■	 役割と機能の追加ウイザード このウィザードを使用すると、役割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共のホストなどの相喩のコンピューティングニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機能を削除するに応じて、インストールする役割、役割サービス、または機ず。 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割、役割サービス、または機能を削除するにない。 管理者アカウントに強力なパクラード効果たれている 単約、IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている 単応するに、「次へ」をクリックしてください。 続行するには、「次へ」をクリックしてください。 		Rサー/・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	x 12 12 14 15 ₹
	□ 既定でこのページを表示しない(S) < 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I)	\$	ヤンセ.	JL

④ 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」が選択されていることを確認後、「次へ>」をクリックしてください。



⑤ 「サーバー プールからサーバーを選択」が選択されていることを確認後、「次へ>」をクリックしてください。

ē.	役割と機能の追加ウィザード
対象サーバ	-の選択 ^{対象サーバー} wszo12
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	 役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。 ● サーバー ブールからサーバーを選択 ● 仮想ハード ディスクから選択 サーバー ブール
	名前 IP アドレス オペレーティング システム WS2012 Microsoft Windows Server 2012 Standard
	1 台のコンピューターが見つかりました このページには、Windows Server 2012 を実行しており、サーバー マネージャーの [サーバーの追加] コマンドを使 用して追加されたサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、データ収集が完了していない、新たに追加された サーバーは表示されません。
	< 前へ(P) 次へ(N) > インストール(I) キャンセル

⑥ 「次へ>」をクリックしてください。

ナーバーの役割の	D選択	対象サーバ WS201
開始する前に インストールの種類	選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 役割	説明
サーバーの違択 サーバーの役割 機能 確認 結果	Active Directory Rights Management サービス ^ Active Directory ドメイン サービス Active Directory アテレーション サービス Active Directory フェテレーション サービス Active Directory ジェアレーション サービス Active Directory 証明書サービス DHCP サーバー DNS サーバー FAX サーバー Hyper-V Web サーバー (IIS) Windows Equity ービス アブリケーション サーバー マブリケーション サーバー マブリケーション サーバー マブリケーション サーバー マブリケーション サーバー ローク ポリシー ビアクセス サービス マブリケーション マーバー ビマーク ポリシー ビアクセス サービス Y	Active Directory Rights Management サービス(AD RMS) は、「韓紀室期が使用から保護するため 使用されます、AD RMS を利用してユ ザーの ID を確立し、許可されたユーザ に保護情報のライセンスを提供します。

- ⑦ 以下の項目をチェックオンし、「次へ>」をクリックしてください。
 - ✓ .NET Framework 3.5 Features
 - ✓ .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)

b	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
▲ 機能の選択 間始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 基果	役割と機能の追加ウイザード 選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能 ● ● <u>INET Framework 3.5 Features</u> ● .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 ?) □ HTTP アクティブ化 □ HTTP アクティブ化 □ JET Framework 4.5 Features (2/7 個をインスト □ BitLocker ドライブ暗号化 □ BitLocker キットワーク ロック解除 □ BranchCache □ Direct Play □ HTTP プロキシを経由した RPC □ IIS ホスト可能な Web コア □ IP アドレス管理 (IPAM) サーバー	 国家サーバー WIN-BUPJTO2R378 説明 NET Framework 3.5 は、魅力的な ユーザーインターフェイスや、ユーザーの個人情報の保護、シームルスで安全な通 信、幅広いビジネスプロセスをモデリングす る機能を提供するアプリケーションを構築 できる新しいテクノロジと、NET Framework 2.0 API の弾力な機能と を組み合わせます。
	□ ISNS サーバー サービス □ LPR ポート モニター □ ************************************) > {/>ストール(I) キャンセル

⑧ ⑦でチェックオンした項目が表示されているのを確認後、「インストール」をクリックしてください。

2	役割と機能の追加ウイザード	_ D X
► インストールオブ 間始する前に インストールの種類 サーバーの違訳 サーバーの違訳 サーバーの役割 機能 確認 結果	役割と機能の追加ウイザード う ションの存在記入 選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールコ 」 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する オブションの機能でインストールない場合は、「前へ」をクリックして、: .NET Framework 3.5 Features .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
	構成設定のエクスポート 代替ソース パスの指定 < 前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>N</u>))> インストール(I) キャンセル

⑨ インストールが正常に完了したのち、「閉じる」をクリックしてください。

2	役割と機能の追加ウィザード	_ 🗆 🗙
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	 インストールの進行状況の表示 ① 機能のインストール 	対象サーバー WIN-BJPJTO2R378
サーバーの運択 サーバーの役割	WIN-BJPJTO2R378 でインストールが正常に完了しました。	
機能 確認 結果	.NET Framework 3.5 Features .NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)	
	このウィザードを閉じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行 ページを再度開いたりするには、コマンドバーの[通知]をクリックし、[タスクの詳細] 構成設定のエクスポート	状況を表示したり、この をクリックします。
	<前へ(P) 次へ(N) > 開	53 +7211

-以上-

著作権について